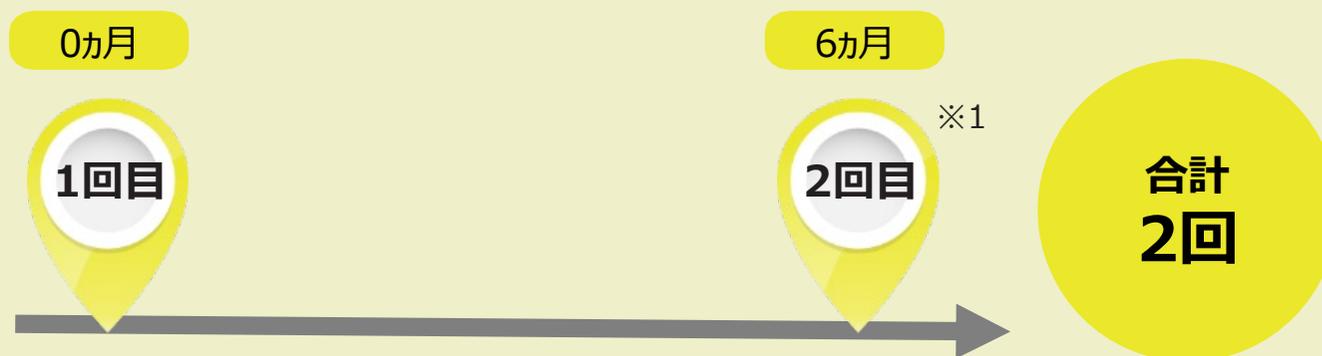


定期接種における9価HPVワクチンの一般的な接種スケジュール

9価HPVワクチン

1回目の接種を
15歳になるまでに
受ける場合



1回目の接種を
15歳になってから
受ける場合

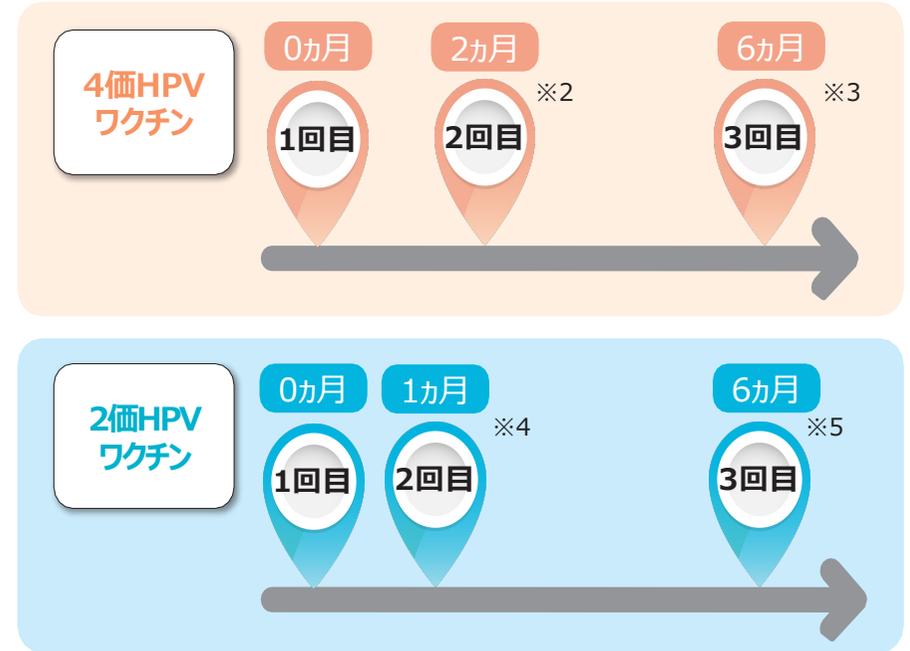
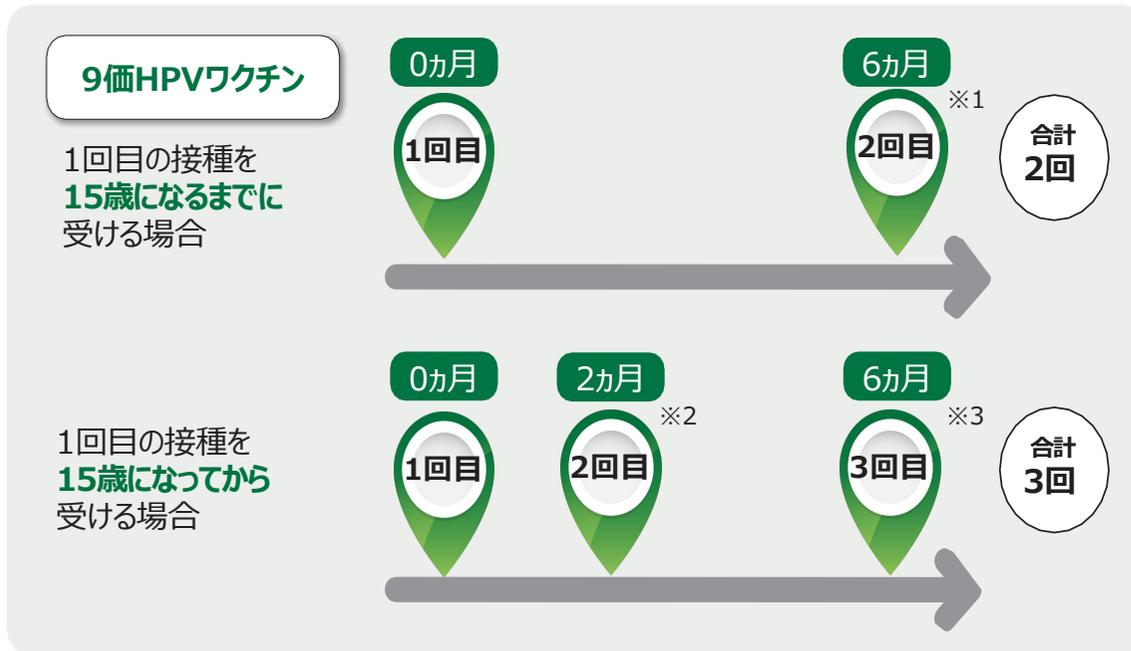


1年以内に接種を終えることが望ましい。

※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2・3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。

定期接種における一般的な接種スケジュール



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。

※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2・3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。

※4・5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※4)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上(※5)あけます。



HPVワクチン 定期接種・キャッチアップ接種対象者



HPVワクチンの積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して公平な接種機会を確保することを目的にキャッチアップ接種が実施されています。

公費で接種できるのは
2025年3月末まで

定期接種

小学校6年生～
高校1年生相当の女子

小6 11/12歳	中1 12/13歳	中2 13/14歳	中3 14/15歳	高1 15/16歳
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

2024年度に高校1年生相当の女子も、
公費で接種できるのは2025年3月末までです。

2024年度 キャッチアップ接種

1997年度生まれ～
2007年度生まれの女子 11学年
(1997年4月2日～2008年4月1日生まれ)

2007 年度生 16/17歳	2006 年度生 17/18歳	2005 年度生 18/19歳	2004 年度生 19/20歳	2003 年度生 20/21歳	2002 年度生 21/22歳
2001 年度生 22/23歳	2000 年度生 23/24歳	1999 年度生 24/25歳	1998 年度生 25/26歳	1997 年度生 26/27歳	

